

山北町第6次総合計画の策定について

1 目的

山北町第5次総合計画の計画期間が令和5年度をもって終了することから、令和6年度を初年度とする山北町第6次総合計画を策定する。

策定にあたっては、従前からの課題である人口減少・少子高齢化の進行や大規模自然災害発生への対応等に加え、新型コロナウイルス感染症による急激な社会変容はもとより、急速に変化するデジタル化の進展や国内外における社会経済情勢の変動等、本町を取り巻く様々な環境の変化に対応するとともに、「バックキャスティング^{*}」の手法を用いて、誰一人取り残さない社会の実現を目指す、持続可能な開発目標「SDGs」の観点を取り入れながら、実効性の高い総合計画を策定する。

※ バックキャスティングとは、目標とする未来像を先に描き、それを実現する道筋を未来から現在へとさかのぼる手法のこと。

2 計画期間

次期計画の構成及び期間は、次のとおりとする。

- (1) 基本構想 令和6年度から令和15年度までの10年間
- (2) 基本計画 ①前期 令和6年度から令和10年度までの5年間
②後期 令和11年度から令和15年度までの5年間

3 策定体制

(1) 総合計画審議会〔附属機関〕

町教育委員会、町農業委員会、町内公共団体の代表者、学識経験者、公募による町民により構成し、総合計画の策定について、町長の諮問に応じて調査及び審議し、答申する。

(2) 総合計画策定推進会議〔庁内検討組織〕

町長、副町長、教育長、課長等により構成し、総合計画の策定に必要な事項の調査検討及び総合計画審議会へ提出する議題の調整を行う。

4 町民参画の取組状況

(1) 町民アンケート調査

まちづくりの基礎となる町民の意向を把握し、計画に反映するためアンケート調査を実施。

概要

- ・期 間 令和5年2月14日（火）～3月6日（月）
- ・対 象 無作為に抽出した18歳以上の町民3,000名
- ・回収結果 有効回収数1,271件 回収率42.40%
- ・町民アンケートと併せて、職員アンケート調査を実施。

(2) 移住・定住された方へのアンケート調査

山北町へ転入された理由や、居住地を決めた理由などをお聞きするなど、転入者の意向を把握し、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施。

概要

- ・期 間 令和5年4月6日（木）～14日（金）
- ・対 象 「サンライズやまきた」「ヒルズタウン丸山」「みずかみテラス」の居住者89軒
- ・回収結果 回収数33件 回収率37.08%

(3) 各種団体調査

山北町で活動されている各種団体へ、団体の現状やまちづくりに対するご意見を伺うため、アンケート調査を実施。

概要

- ・期 間 令和5年4月6日（木）～14日（金）
- ・対 象 老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、中川温泉旅館組合、丹沢湖観光連絡会、スポーツ協会、文化団体連絡協議会、PTA連絡会、婦人会連絡協議会、NPO法人情緒豊かな町づくり
- ・回収結果 回収数9団体 回収率100%

(4) 町民ワークショップ

町民の皆さまに山北町の将来について自由な意見をいただくためワークショップを開催。

概要

- ・開催日 令和5年6月22日（木）19時～21時
- ・場 所 山北町役場
- ・対 象 町内在住の18歳以上の方
- ・参加者 4名（1グループ）

(5) 中学生ワークショップ

次代を担う中学生に、50年後どのような山北町になって欲しいかを描いてもらい、その将来に向けて、まちづくりに何が必要なのか考えていただくとともに、山北町への愛着を深めていただく機会とするためワークショップを実施。

概要

- ・開催日 令和5年3月16日（木）13時15分～15時15分
- ・場 所 山北中学校
- ・参加者 山北中学校1、2年生 12名（2グループ）

3 まちのこれまでの取り組みについて

山北町第6次総合計画策定に関する
町民アンケート調査報告書より抜粋

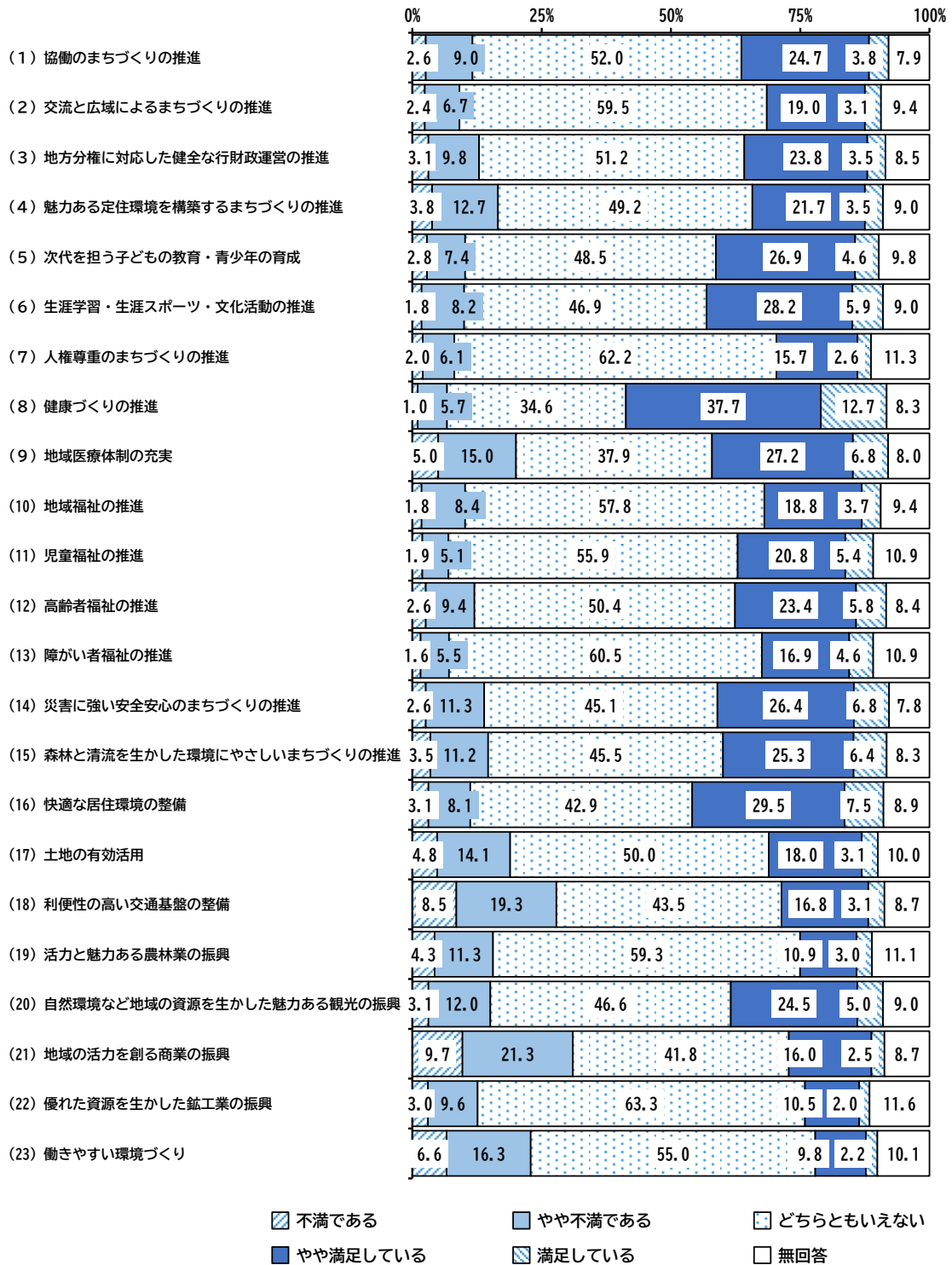
(10) 23の取り組みの満足度・重要度

Q：山北町では、次の23の取り組みを推進してきました。それぞれについて、満足度と重要度に5点満点で点数をつけてください。(満足度と重要度のそれぞれに1つずつ○をつけてください)

【町民Q4、職員Q2】

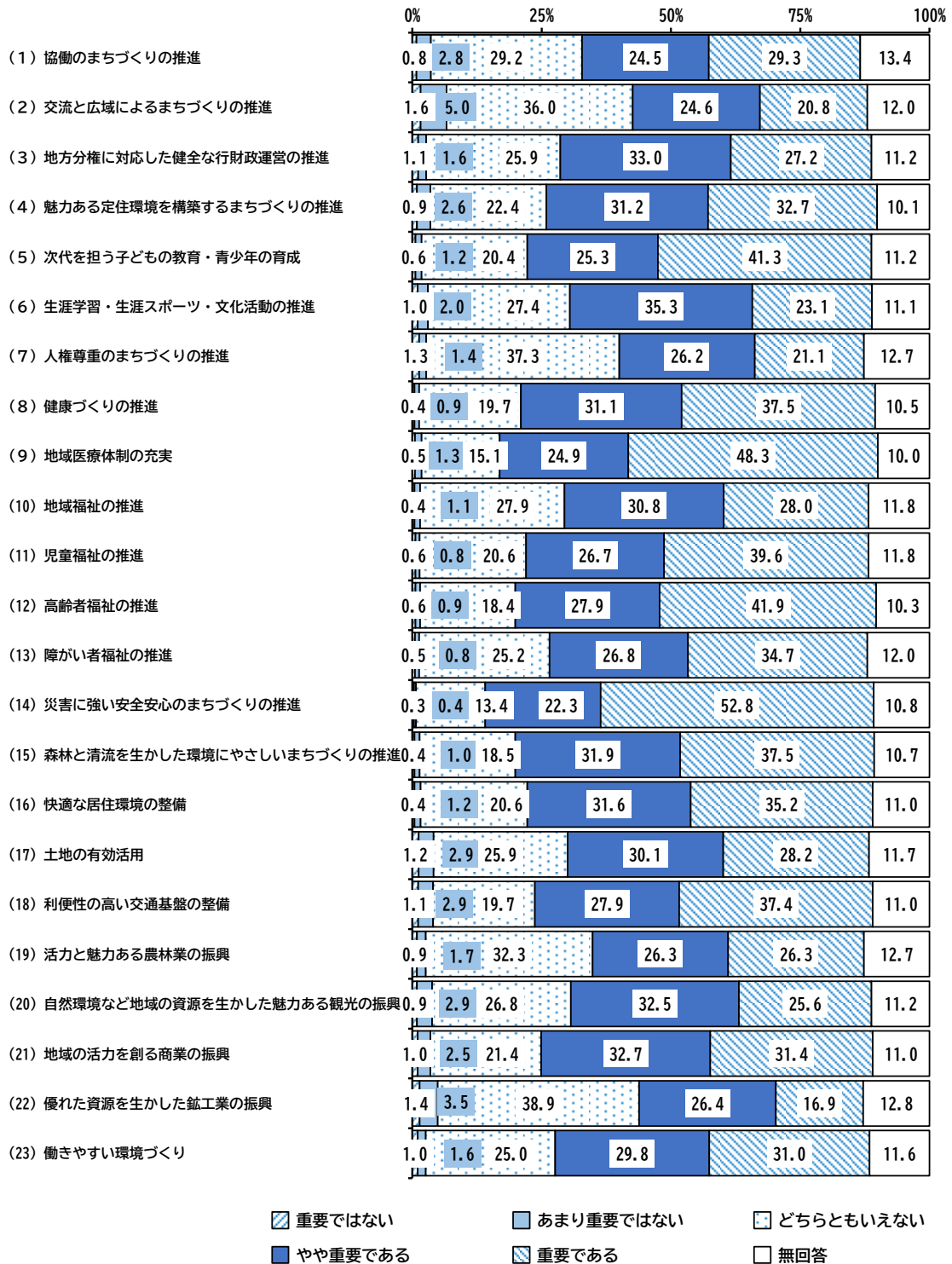
町民 満足度 n=1,271

<町民 満足度>



<町民 重要度>

町民 重要度 n=1,271

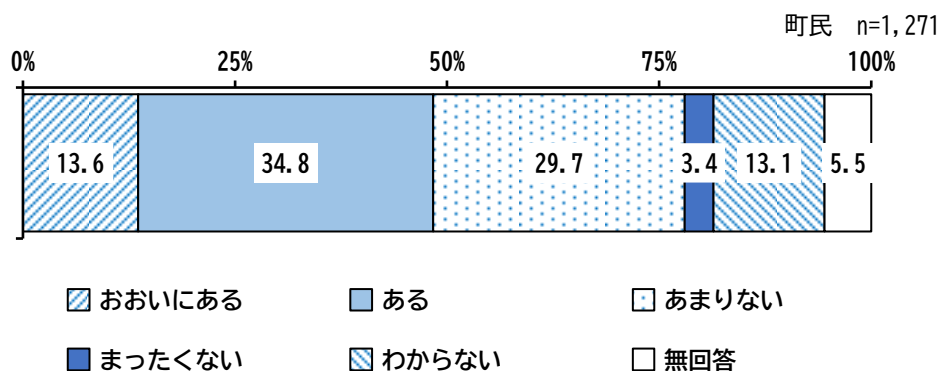


8 教育について

(11) 山北町の教育の関心度

Q：山北町の教育に関心がありますか。(○は1つだけ)

【町民Q20、職員－】



町民：「ある」34.8%が最も多く、以下「あまりない」29.7%、「おおいにある」13.6%、「わからない」13.1%、「まったくない」3.4%となっています。

「おおいにある」と「ある」を合わせた『ある』は、48.4%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査 (単位：%)

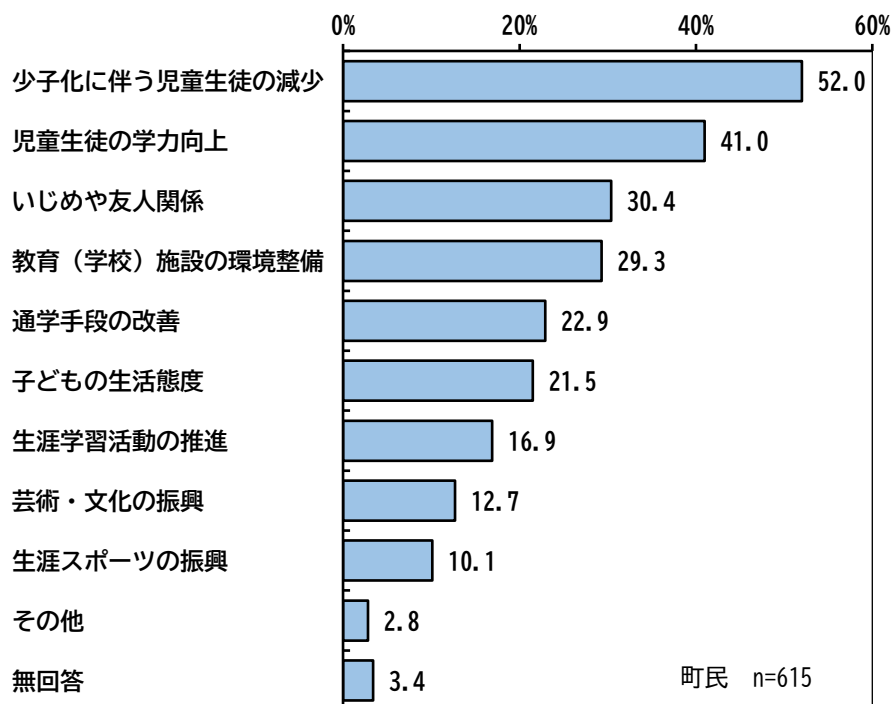
	調査数 (人)	おおいにある	ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答
R5調査	1,271	13.6	<u>34.8</u>	29.7	3.4	13.1	5.5
H30調査	1,307	13.9	<u>36.1</u>	27.5	4.7	15.8	1.9

(12) 課題と感ずること

Q：課題と感ずることはありますか。(○は主なもの3つまで)

【町民Q20-1、職員-】

※問20で「おおいにある」または「ある」と回答された方にお伺いします。



町民：「少子化に伴う児童生徒の減少」52.0%が最も多く、以下「児童生徒の学力向上」41.0%、「いじめや友人関係」30.4%、「教育(学校)施設的环境整備」29.3%、「通学手段の改善」22.9%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	少子化に伴う児童生徒の減少	児童生徒の学力向上	いじめや友人関係	教育(学校)施設的环境整備	通学手段の改善	子どもの生活態度	生涯学習活動の推進	芸術・文化の振興	生涯スポーツの振興	その他	無回答
R5調査	615	<u>52.0</u>	41.0	30.4	29.3	22.9	21.5	16.9	12.7	10.1	2.8	3.4
H30調査	654	<u>48.0</u>	37.9	37.9	26.9	17.9	26.0	19.1	13.5	12.8	2.6	2.8

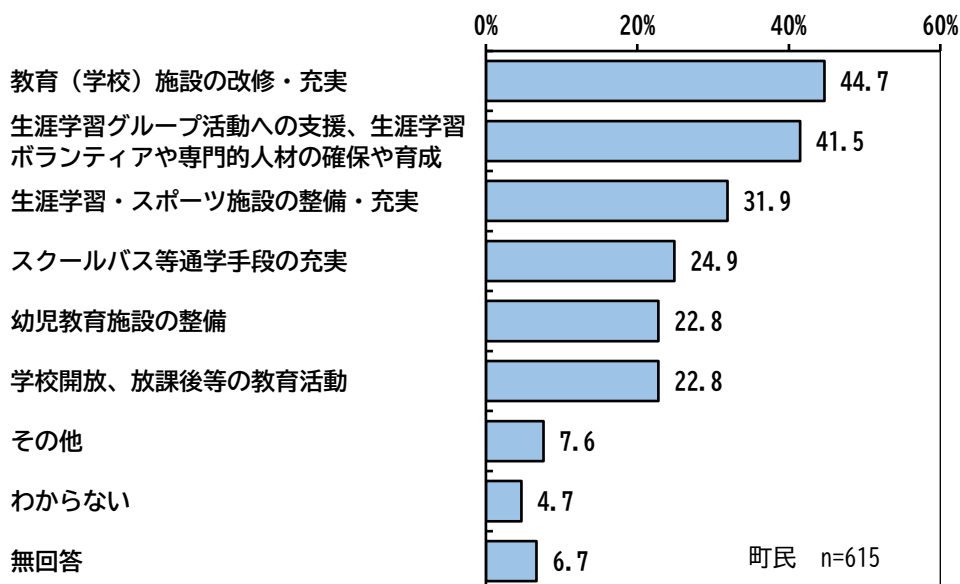
(13) 課題を解決するために必要な対策

Q：問 20-1 で回答いただいた課題を解決するためにはどのような対策が必要と考えますか。

(○は主なもの3つまで)

【町民Q20-2、職員-】

※問 20 で「おおいにある」または「ある」と回答された方にお伺いします。



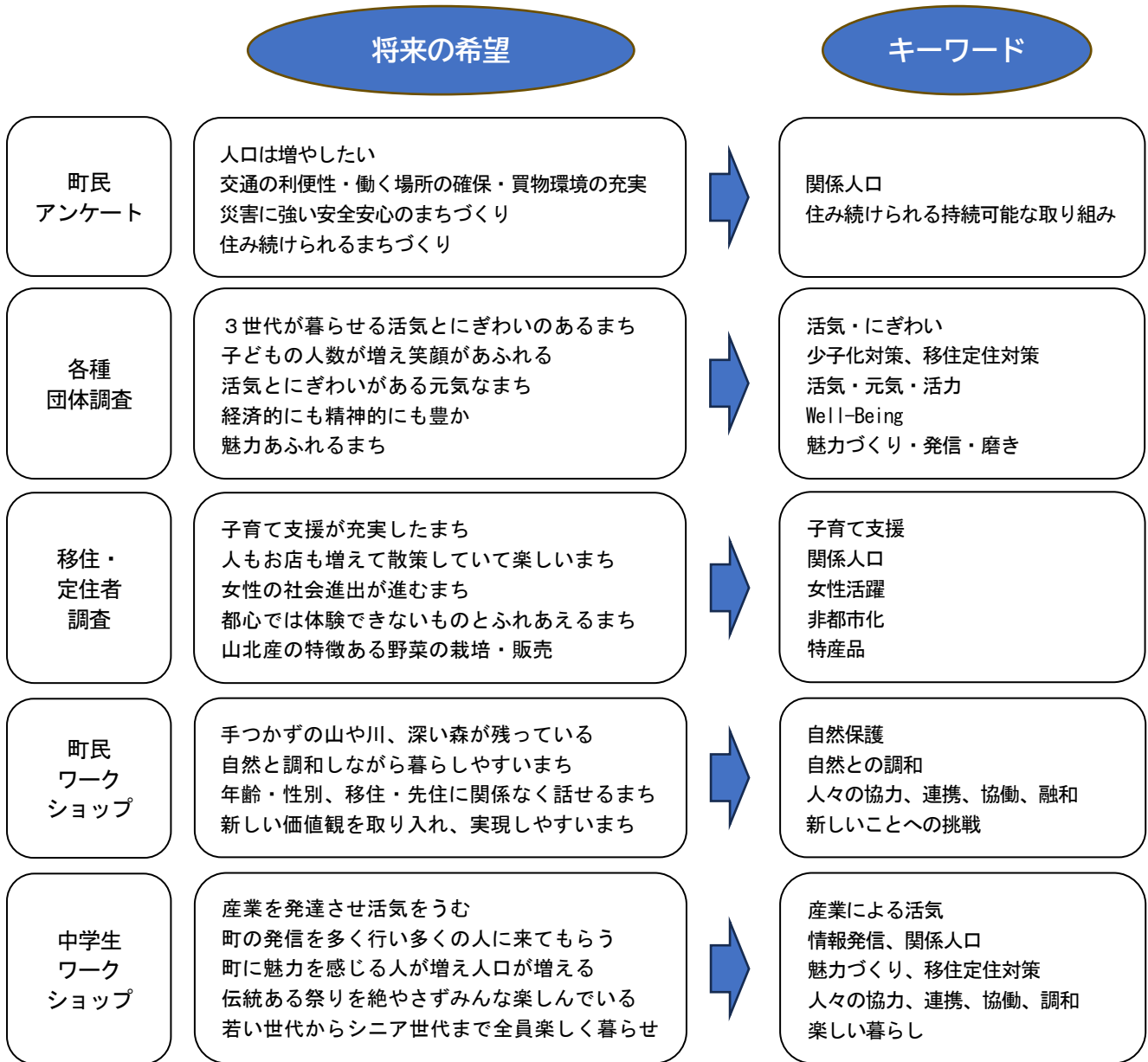
町民：「教育（学校）施設の改修・充実」44.7%が最も多く、以下「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」41.5%、「生涯学習・スポーツ施設の整備・充実」31.9%、「スクールバス等通学手段の充実」24.9%、「幼児教育施設の整備」と「学校開放、放課後等の教育活動」が22.8%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査（単位：%）

	調査数（人）	教育（学校）施設の改修・充実	生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成	生涯学習・スポーツ施設の整備・充実	スクールバス等通学手段の充実	幼児教育施設の整備	学校開放、放課後等の教育活動	※学校区の自由化	その他	わからない	無回答
R5調査	615	44.7	41.5	31.9	24.9	22.8	22.8	—	7.6	4.7	6.7
H30調査	654	38.8	41.1	31.5	24.0	23.4	20.9	10.1	7.2	4.0	5.7

※「学校区の自由化」は、H30調査のみ。

【新たな将来像の検討】



求められているまちの将来像

みんなで作る ころ豊かに暮らせるまち やまきた